

ボーイスカウト・ガールスカウトに助成金贈呈

ボーイスカウト上田第5団・第13団、ガールスカウト長野県第5団・第25団の指導者の方がご来会。会長から助成金をお渡ししたあと活動状況についてお話いただきました。コロナの状況が次の段階に入ったことから、様々な活動が再開されたようです。特にボーイスカウトでは4年に1度の世界ジャンボリーがこの夏に韓国セマングムで開催され、出田さんは日本派遣団の団長として参加され、その様子をお話いただきました。



■ボーイスカウト上田第5団



望を生み出そう 団委員長 出田 行徳様

次代を担う青少年の育成活動をしているガールスカウト、ボーイスカウトへのご理解とご支援誠にありがとうございます。

上田第5団は現在、指導者不足によりボーイスカウト活動が低迷しています。指導者不足の原因はいろいろありますが、指導者の新陳代謝がうまく進まず、一部の指導者の負担が増加してしまうこと、家族の介護や転勤等で指導者を続けられない人が出てくること、それに魅力ある活動提供を継続するため、対処療法として、ビーバースカウト隊（小1～2）を休隊として、その指導者を他の隊指導に回してもらいました。マネージメントの失敗を、子ども達に回したことを申し訳ないと思い、できるだけ早い指導者育成に取り組んでいます。

上田第5団は、本年度、カブスカウト隊（小3～5）はスカウト4名、リーダー6名、ボーイスカウト隊（小6～中3）はスカウト11名、リーダー5名、ベンチャースカウト隊（高校生）は1名、ローバースカウト隊（18～24才）は1名、団を運営する団委員会が9名と、37名で活動しています。

今年度は4年に一度の第25回世界スカウトジャンボリーが、世界150か国以上、43,000人の参加で、韓国で

開催されました。上田第5団からは、中学生1名、高校生1名、専門学校生1名、指導者1名が日本派遣団1,563名の一員として参加することができました。これは、RCの皆様のご支援の賜物と御礼申し上げます。

参加者の内、14～18歳の青少年は、9人で一つの班を構成し、それが4個班で隊を構成します。そこへ、ボランティアで自費参加する成人指導者4名が加わり40名で参加隊を構成し、ボーイスカウトの技能を発揮して、一般的なプログラムを展開します。18歳以上の青年は、世界中の仲間と、国際サービスチーム（IST）として、プログラム、生活、安全、警備等の大会運営をします。そのほか各国の派遣団本部が、派遣団の運営をします。

世界スカウトジャンボリーは、4年に一度開催されますが、2015年の第23回世界スカウトジャンボリーは、山口県で開催され、日本からは地元開催ということで4,000名のスカウトが参加し、参加隊の先輩たちのISTでの活躍にあこがれ、2016年アメリカで開催された第24回世界スカウトジャンボリーでは120名以上のISTが参加して活躍してくれました。なお、概要報告書（原稿）は、少ないですが、テーブルにお配りしました。

上田第5団は、昭和24年に、上田市で誕生してから、70年以上、地元の皆様のご支援で続けることができました。本日もご出席の皆様、あるいは関係者の皆様の中にも、関係していただいた方も多いと思います。今後とも、地域の青少年へのご理解と、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。

■ボーイスカウト上田第13団



団委員長 小川 實様

本年も助成金を賜りありがとうございます。昨年も話をさせていただきましたが、ボーイスカウト活動プログラムに、スカウトの日（9月敬老の日）を定め全国のスカウトが気持ちをひとつに活動す

る日があります。今年は9月18日（月・祝）になります。

昨年まで、スカウトの日にプラゴミバスターズ大作戦（プラゴミを拾い集める作戦）が実施されました。世界中のスカウト・父兄・関係機関の皆様が参加して拾い集めたゴミの総数2,082,950個、参加人数38,411人を数えました。

この活動は2022年11月に終了しましたが、日本連盟指導のもと継続して行なわれています。本年もスカウトの日をプラゴミバスターズ大作戦として行なうことが決まり、長野県連盟も取り組むことになりました。

機関紙による報告では、期間終了後から2023年1月末の2ヶ月間でゴミの総数は420万個に、参加人数も4.7万人へ増加しています、と書かれていました。当団もスカウト・団リーダー全員で積極的に参加してまいります。

また、スカウトの日には、地球上から不要なプラゴミをどうしたら減らせるか、分別収集の徹底を心がけながら如何にすればプラゴミを少なくできるか等、話し合いをしています。

本日はありがとうございました。これからもスカウト精神を忘れず努めてまいりますので、今後共よろしくお願いたします。

■ガールスカウト長野県第5団



団委員長 岩岡 智子様

今年もロータリークラブ様から貴重な助成金を頂戴できますことに、心より感謝し御礼申し上げます。

5団の今年度のスカウト数は、小学1年生から高校1年生まで10名です。登録数としては、リーダーは私を含め4名、保護者とSCAPPと言って、応援してくれる方とか高校を卒業した少女の20名、合計34名でスタートし、10月に一人入団になりますので35名です。

集会は月に2回として第2・第4の日曜日の午後、小学校低学年のブラウニーと高学年のジュニアの8名が合同で行っています。中学生と高校生の2名のスカウトはリーダーとリモートで集会をし、今年も団キャンプのファイヤーを担当し、盛り上げてくれました。

主になるリーダーがほぼ一人で、計画・準備・開催していて、仕事や生活がある中、申し訳なく感じています。保護者の中からは下に小さなお子さんがありリーダーになってもらえる方もなく、学生でリーダーになろうと思う人がいないかと、気にかけてはいますが、なかなかリーダー不足は改善されずに悩んでいるまま、毎年瞬く間に一年が過ぎてしまいます。

最近のスカウトの様子を報告させていただきます。

7月9日（日）は、戸隠にガールスカウトの森の下草刈りでした。34年前の高校生年代のスカウトから始まったプロジェクトで、1989年植樹をしました。今では第1の

森・第2の森・第3の森とあります。長野県は北信・東信・中信・南信4つの地区に分けて地区としての活動もしていて、今年は東信の当番でした。自分は娘の産後のお手伝いがあり行かれませんでした。雨の心配もてる坊主のおかげで大丈夫でした。戸隠のおそばも美味しく頂けたことと思います。

8月11日から15日の4泊5日戸隠ガールスカウトセンターでレンジャー全国キャンプが行われ、長野県から11名のスカウトとヤングリーダー2名が参加し、5団の高校生も一人参加しました。聞いたところ、団ではここ何年も1泊2日のキャンプで、しかもゆるいものでしたので、かなり厳しいキャンプだったようです。涙を流し合った仲間と新しい絆が持てたそうなので、今後の成長も楽しみです。日頃の訓練もこうした時のためにあると思うのですが、なかなか現状は大人の手が足らずとても2泊3日や3泊4日のキャンプはできずにいます。

団委員長研修の時に学んだことで・・・ねばならない意識からの脱脚・・・という項目から今年は意識を変えて8月5日・6日と女神湖のペンションに泊まり、綺麗でおいしい食事をいただき、ボートに乗ったり、ゴンドラに乗って湿原を歩いたり…と、1泊2日のガールスカウトにしては珍しい形の団キャンプですが、思い出に残る体験をしました。

9月2日・3日は高遠青少年自然の家で、小学校高学年対象のジュニアラリーが長野県連盟主催でありました。4年生の少女4名と、長いこと団の運営とリーダーはされていても「こうした連盟事業には初めての参加だ」と、不安いっぱい参加してくれたリーダーからは「行きの車中も帰りの車中もそれは賑やかにしていた」、「いろいろなプログラムも存分に楽しんだ」と言われました。

近年では会員増強を目的にガールスカウトフェスティバルを一般の小学校3年生までの少女を対象に地区ごとに開催しており、東御・上田方面と小諸・佐久方面の地域で、場所は交代で開催しています。昨年12月には上田で行う予定が急激なコロナ感染者の増加でやむなく中止とし、今年5月にリベンジで上田の長池公園で行ったところ、25団4名、5団1名の入団者がいたことは、すごいことで励みになります。

10月1日には小諸で開催されますが、すでに申し込みはいっぱいということです。

2024年度は長野県連盟が60周年を迎える年です。小学校低学年用・高学年以上用・成人用の楽しい記念事業が予定されていて、スカウト活動は逃げたくなる時もあるのですが、どこか楽しみにしている自分がいます。

学校生活以外での集団で楽しいことわくわくすることを体験した少女が成人になったとき、何か人や社会の役に立てる、行動できる女性になってくれることを願って、私たちは微力ながら活動していますが、こうした活

動を続けていかれるのも、団の財源だけではできません。ロータリー様からのご支援・ご協力があったのことで、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

■ガールスカウト長野県第25団

界に希望を生み出



団運営員 早坂 さやか様

今日は、上田東ロータリークラブ例会にご招待をいただき、ありがとうございます。また、毎年手厚いご支援をいただき、誠にありがとうございます。今日は団委員長村瀬の代理で出席させていただきます、団運営委員会書記の早坂です。

さて、この一年の25団の活動について、ご報告をさせていただきます。ガールスカウト長野県第25団は、今年度ブラウニー部門に1年生の入団が1名ありました。また、下期の10月からブラウニー部門に1年生と3年生2名の入団を予定しています。

今年は、昨年までコロナにより規制が強かったイベントの開催基準が今年度緩和され、4年ぶりに各所でイベントが開催されるようになりました。25団でも5月に城跡公園にて開催されました「うえだ子どもまつり」への参加やガールスカウトフェスティバルの開催など、地域と関わるイベントで活動することができました。今年は、7名から入団の問い合わせや入団申し込みがあります。団内の活動だけでなく、こうした地域と交流のあるイベントで活動できたことが新入団希望に繋がっていると考えており、今後も感染対策をしながら外での活動も

積極的に実施していきたいと思っております。

団内の活動では、10月に団キャンプを上田市内のキャンプ場で予定しております。日々の集会では、テントの建て方、クッキング、ロープワークなどキャンプに向けた訓練に励んでいます。中高生以上になると、部活動や受験などによりなかなか全員が一緒に集まって集会を行なえる日が少なくなってきました。ですが、みな忙しいながらも、予定があれば積極的に活動に参加し、後輩たちを優しくサポートする姿も見られ、小さな子から成人までひとつながりで活動するガールスカウト活動の良さを感じております。

長野県連盟の活動では、9月に小学高学年部門のジュニアラリーに2名参加をしました。2泊3日で間伐材から箸を作成したり、玉ねぎの皮を使った自然染めをした布を使って箸入れを作ったりしたそうです。過去のキャンプと一緒に活動した市外のお友達との再会を喜び、一緒に活動するなかで沢山のことを吸収してきたようです。その後の団の集会では、小学校低学年のスカウトに向けて活動を報告しました。各部門での活動を団内でも共有することで、長くスカウト活動が続ける良さを感じてもらえればと思っています。

ガールスカウトは少女たちが学校以外の場所で活躍できる場として、今後も活動していきたいと思っておりますので、ロータリークラブのみなさまには引き続きお力添えをいただきながら、日本の将来をにう子どもたちにとって、また、地域にとって意義のある活動を継続していきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

例会日誌 9月13日(水) 晴れ 2023～2024 No.8

- 司 会 関 邦幸君
- 齊 唱 「それでこそロータリー」
- ゲ ス ト 出田行徳様(ボイスカウト上田第5団 団委員長)
小川 實様(ボイスカウト上田第13団 団委員長)
岩岡智子様(ガールスカウト長野県第5団 団委員長)
早坂さやか様(ガールスカウト長野県第25団 団運営員)
- ラッキー賞 竹内 強君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 神津 健君(山本君より静岡のお土産エビのお菓子ウイスキーケーキ)
宮澤隆明君(北村君よりお酒「瀧澤」)
佐藤友則君(荻輪君より青木村のお土産カステラサンドおにぎり昆布)



- 9月慶祝 【周年祝い】
西上悦雄君 32年 上原 達君 25年
柳澤 亨君 25年 白井正博君 11年

- (慶祝の続き) 松山賢太郎君 7年 神津 健君 1年
手塚多佳彦君 1年
【結婚記念日祝い】
佐藤友則君・史絵き 9/9
【誕生日祝い】
宮下秀司君 9/1 遠藤隆幸君 9/2
浜野浩孝君 9/3 小田中讓君 9/4



■会長挨拶 上原 達 会長

先週は、20日の折井ガバナー公式訪問に先立ち、西入ガバナー補佐、飯島ガバナー補佐幹事にお越しいただき貴重なスピーチをしていただきました。その後のクラブアッセンブリーでは、各役員・理事・委員長さんより活

動計画の発表し、西入ガバナー補佐よりご指導をいただきました。せっかくの機会でしたので参加者の中からロータリーに対してのご意見を沢山頂戴する良い機会となりました。

今日は、先ほどの理事会で決まったことのお知らせをしたいと思います。

昨年11月に行われた諮問委員会の席で、長年当クラブに功績のあった方々が、高齢や病気、転勤などを理由に例会に出席できないため退会をされてしまっている。こうした方々へ何かクラブとして敬意を表す方法を上原年度で考えてほしいと強く要請をいただきました。

近隣クラブでは、そうした会員を「友の会」「会友」の名称で周年行事・懇親会・クラブ計画書の送付など、退会後もクラブとの交流が図れる仕組みができておりました。当クラブでは8月の理事会にそうした会の創設について審議いただき承認をいただきました。それを受けて会長・幹事に渡辺エレクト・飯島副会長・北村SAA・滝澤会計6名で準備委員会を構成して、名称・規約について検討して議案を本日の理事会に提出させていただきました。ご承認をいただきましたので早速みなさまに報告させていただきます。

名称は、「フェローシップ会員」として、規約は配布の通りになります。名称のフェローシップの意味を調べてみると、「仲間であること」「共同体」「志を同じくした集まり」などの意味合いがあるのでこの会の趣旨にあっているため決定させていただきました。

さしあたって、現在対象の方19名にご案内をして、希望がある方の確認後に手続きをすすめていただきます。なお、フェローシップ会員資格にあたっては理事会の決定が必須となります。最後に、正会員からの単なる移行は認められませんので申し添えさせていただきます。

■幹事報告

丸山浩治 副幹事

計 報

後藤正直会員のご尊父様 後藤新平様(享年98歳)が9月7日ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- ・ガバナー事務所よりガバナー公式訪問のご案内。
- ・松本空港RCより地区大会青少年アワーのご案内。
- ・会報恵送：上田、丸子各RCより。

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	49	47	17	—	63.83%
前々回	49	46	11	7	91.30%

ニコニコBOX (敬称略)

出田行徳 (BS 第5 団団委員長)、飯島 (裕)、石井、上原小田中、北村、工藤、神津、佐藤、塩之入、関、滝澤、竹内玉井、田守、塚田、手塚 (た)、西入、浜野、水出、蓑輪宮坂、宮澤、母袋 (創)、柳澤亨、山寺、山本、渡辺
※出田行徳様/本日はお世話になります。

※神津 健君/ボーイ・ガールスカウト各団委員長の皆様、今日は色々と学ばせて下さい。

※小田中譲君/古着2個、本日佐川急便が集荷に来ました。

※工藤 恒君/親睦コンペの後、関さんに、「アイアンは飛ばすクラブではない。」と教わりました。

※手塚たつ子さん/朝、TVで「釧路よりヒンヤリ」と菅平、美ヶ原、上田城も紹介されビックリ。

※浜野浩孝君/友愛賞、ありがとうございます。今、上田に来ている妻と美味しく頂きました。

※渡辺敏成君/バスケット日本代表おめでとう！私の二男も「わたなべゆうた」というので、ほめられているような気がしました。

本日の金額/36,000円 累計/348,000円

上田東ロータリークラブ・フェローシップ会員規約

(会員)

第1条 フェローシップ会員は、上田東ロータリークラブに所属したのち退会した者で、下記の条件をみたし、理事会が決定し、かつ本人がフェローシップ会員となることを承諾したものとす。

- 1) 上田東ロータリークラブに3年以上所属した者。
- 2) 会員からフェローシップ会員に推薦のあったもの。

(行事)

第2条 上田東ロータリークラブはフェローシップ会員を各種の記念行事や親睦行事に参加させることができる。

第3条 第2条の行事に参加するフェローシップ会員は、その行事について会員と同じ金額を負担するものとする。

(会報)

第4条 上田東ロータリークラブはクラブ計画書等をフェローシップ会員に送付する。

(退会)

第5条 会費の納付がない場合は、フェローシップ会員を退いたものとみなす。

第6条 フェローシップ会員として不適切な行為があった場合、理事会の決定によりフェローシップ会員を退かせることができる。

第7条 フェローシップ会員が死亡した場合。

(慶弔)

第8条 公の立場より表彰を受けられ、理事会で認めた場合、慶祝金を贈ることができる。

第9条 フェローシップ会員死亡の場合、弔慰金を贈る。

第10条 慶祝金・弔慰金の金額は理事会で決定する。

(会費)

第11条 フェローシップ会員は年12,000円の会費を納入する。

付則 この規則は令和5年10月1日より施行する。

(令和5年9月13日理事会にて決定)

[次週のプログラム] 9月27日(水) 休会 10月4日(水) 慶祝、米山奨学生 趙天澍君スピーチ